



録画を配信

# 佐藤町長5期目の町政運営について

## 町長 将来像の実現に向け取り組みを進めたい



金田 悟議員

町政運営全般は広範囲であるため、今回は農業分野に特化して質問させていた。

### 基盤整備事業

**問** 基盤整備率は。

**農政課長** 水田で74%、畑地は4%にとどまっている。

**問** 今後の計画は。

**農政課長** 浅立地区が令和4年度から調査計画が開始。令和7年度には東横田尻地区に鮎貝、高玉地区の一部を含んだ事業が計画されている。

**問** 担い手は十分確保されているのか。

**農政課長** 基盤整備事業は担い手が確保されていることが前提となっていることから、十分考慮したうえで進めている。

**町長** 担い手の確保とすることが、我が町にとって非常に重要な課題である。

### 白鷹町土地改良区

**問** 近年、電気代の高騰により、土地改良区の運営に支障をきたしているが、農業水利の問題も含めての認識はどうか。

**農政課長** 白鷹揚水機場と幹線送水管等の付帯設備の整備から40年以上経過し、維持管理経費の増大と、電気料金の高止まりで、経営的に厳しい状況と認識している。

**町長** 現在、白鷹町土地改良区並びに受益者などの皆さまが、いろいろな角度から研究されている。その結果、考え方が整った場合は、町としても応援していく必要がある。

### 水田活用の直接支払交付金

**問** 交付対象面積は。

**農政課長** 令和6年度の交付対象面積は、168畝である。

**問** 水張りを実施または実施見込み面積は。

**農政課長** 令和5年度28畝、令和6年度38畝、令和7年度以降53畝である。

**問** このままだと、約50畝が交付対象から除外となる計算だが、少しでも減らす取り組みは。

**農政課長** さまざまなお機会を通し、声掛けなど周知を図っていく。

### 地域計画

**問** 各地区で地域計画を策定中だが、耕作放棄地などが増加していくことが想定される。認識はどうか。

**農政課長** 農業者の減少は避けられず、農家

が中心となって守っていくことが困難になってくると思うが、引き続き、関係団体や地域の皆さまと、地域の特色を踏まえた農村集落のあるべき姿について、協議を重ねていきたい。

**町長** 地域計画の中で、前向きな提案を出していただければ、支援策を考えられるかもしれない。ぜひ地域計画でご検討願いたい。

### 私もひとこと

これから、ますます地域農業の姿が心配です。地域の実情を反映した取り組みに期待します。(60代男性)